

外海潜伏キリシタン文化資料館

今に伝えるキリシタンの歴史と文化



MUSEUM OF SOTOME HIDDEN
CHRISTIAN'S CULTURAL TRADITION

長崎・外海
NAGASAKI SOTOME

外海キリシタンに関わる主な出来事

- 1549年 フランシスコ・ザビエル鹿児島に来航、キリスト教伝来。
- 1563年 大村純忠受洗、わが国初のキリシタン大名となる。
- 1571年 外海地方でキリスト教の布教。神浦正信が受洗。
- 1587年 豊臣秀吉がバテレン追放令を発布。
- 1597年 二十六聖人が長崎西坂の丘で殉教。
- 1613年 徳川幕府がキリシタン禁教令発布。
- 1622年 元和の大殉教。スピノラ神父ら55人が処刑される。
- 1637年 島原・天草の乱勃発。
- 1639年 鎖国の完成。
- 1657年 大村藩で「郡崩れ」が起きる。
600人余りが捕らえられ、うち411人が斬罪。
- 1775年 大村領外海地域の農民78人が五島へ移住。以降、幕末まで
3千人あまりが移住。移住者のほとんどは潜伏キリシタン
であった。
- 1790年 浦上一番崩れ起きる。
- 1856年 浦上三番崩れ。外海地方にも波及する。
- 1863年 パリ外国宣教会が長崎で活動開始。
- 1865年 大浦天主堂完成。ブチジャン神父による信徒発見。
同神父が出津を訪問。
- 1867年 浦上四番崩れ。外海の佐賀領キリシタン3百人に重労働が
課せられる。クーザン神父が黒崎訪問。
- 1868年 浦上村一村総流罪となる。
外海でもキリシタン弾圧があり1872年まで続く。
- 1873年 キリスト教禁教の高札撤廃。
- 1879年 ド・ロ神父が外海地区へ赴任。



外海キリシタンの聖地・枯松神社

案内図



外海潜伏キリシタン文化資料館

〒851-2326 長崎県長崎市下黒崎町5143番地 (黒崎教会下)

連絡先電話番号/090-2713-5259

◎開館時間/9:00~16:00

◎開館日 /土・日・祝日開館/平日は要予約

◎入館料 /一般(高校生以上)…200円、団体(10名以上) 160円/小・中学生無料

※本資料館は長崎市交流の産業化応援補助金を受けて整備したものです。

交通機関/長崎駅方面からのバス

長崎バス『長崎新地ターミナル』発(長崎駅前経由)『さくらの里ターミナル
(大瀬戸・板の浦)』行きに乗車⇒『桜の里ターミナル』でさいかい交通『大
瀬戸・板の浦』行きに乗り換え⇒『黒崎教会前』バス停下車。徒歩1分。



潜伏キリシタンがオラショの伝習場所とした祈りの岩

ごあいさつ

1549年、イエズス会宣教師、フランシスコ・ザビエルによって日本に伝来したキリスト教は、南蛮貿易の進展や戦国時代の社会情勢のもとで勢力を拡大していき、長崎はその中心地となりました。しかし、キリスト教国による侵略を恐れた豊臣秀吉は禁教へと姿勢を変え、徳川幕府は、1613年にキリシタン禁教令を発布してキリスト教を完全に禁止します。幕府はキリシタンを根絶やしにするため、徹底した弾圧、迫害を続けますが、一部のキリシタンは潜伏して250年にわたり信仰を守りました。外海地区は潜伏キリシタンが密かに信仰を守り続けた土地のひとつです。

また、キリスト教の受容は、大航海時代を背景とした西洋とわが国との直接的な文化の交流です。それは、250年に及ぶキリシタン潜伏の歴史により、さらに、わが国古来の文化と融合して世界に類を見ない独自の文化的伝統を生み出しました。

本資料館は、外海地区とその周辺地域における潜伏キリシタンの歴史とその文化的伝統について、貴重な資料を展示するとともに、信仰をはじめ社会状況や集落と生活のあり方などを調査研究し、その成果を公開するために開設したものです。

本資料館の展示を通じて、現在もなお様々な形でこの地に息付く潜伏キリシタンの歴史と文化的伝統に理解を深めていただければ誠に幸いに存じます。

主な展示品



聖人像(納戸神)

外海・黒崎地区の潜伏キリシタンが伝承。



聖骨箱

キリスト教の宣教期から潜伏期に伝来し、黒崎の潜伏キリシタンが伝承。



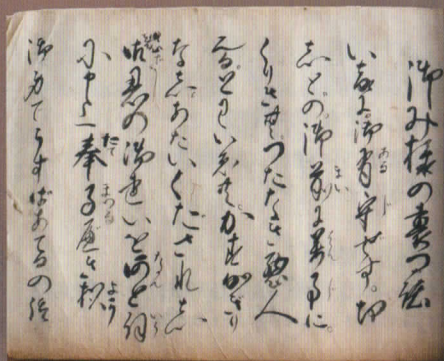
メダイ

片面はキリスト像で『サルバトル・ムンディ(世の救世主)』、片面はマリア像で『マテル・デイヴィネ・グラチエ(聖寵みちみてる母)』とラテン語で刻まれている。黒崎地区の潜伏キリシタンが伝承。



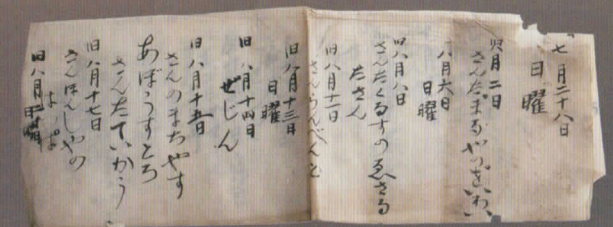
十字架

再布教期にパリ外国宣教会が宣教記念として潜伏キリシタンに配布したもの。



オラシヨ

オラシヨはポルトガル語で祈りのこと。本来は口伝されたもので、本資料は黒崎地区のかくれキリシタンが大正時代に書き残したもの。



バスチャン暦

『バスチャンさまの日繰り』と呼ばれる1634年(寛永11年)の太陰暦による教会暦で潜伏キリシタン組織団結の力となった。本資料は隣接する三重・畝刈地区のかくれキリシタンののが伝承したもの。



カトリック、かくれキリシタン、元かくれキリシタンの信徒が一堂に会して毎年開かれる枯松神社祭